

ふう けい き こう  
**風景紀行**  
 おく しなの  
**奥信濃**  
 26  
 北信森林管理署  
 (各署の景勝地等を紹介)

**奥信濃**

長野・山梨・埼玉に県境を接する甲武信ヶ岳に源を発した千曲川が、信濃川と名前を変える所が信越国境の栄村です。村の総面積の九十三割が森林で、国有林がその五十五割を占め、その大部分は良質のブナを中心とした天然林です。

この地域は有数の豪雪地としても知ら



日本最高積雪の記録

野川に注ぐ、およそ二千鈔のカヤノ高原に降った雨雪のごく一部と思われませんが、間断なく噴出する量に感動と、その供給源としての国有林を管轄する者として誇らしさを覚えます。

村では十餘程離れた場所を再度掘削して現在の温泉源を掘り当て、学問の湯「北野天満温泉」として村の振興公社が運営

れ、昭和二十年二月十二日には、日本最高の七尺八十五寸の積雪を記録しました。

村内を通過する国道一一七号線から分かれ、新潟県を経由して再び長野県に入り県道一一七号線を北野川に沿って八キロ南下すると、北野という地域があります。ここには名前のとおり、京都北野天満宮の流れをくむ北野天満宮があります。

学問の神様・菅原道真公を祀るこの神社には受験の季節ともなると、県内外から受験生が訪れ、合格祈願の絵馬を奉納しています。

集落を流れる北野川の河原に湯脈があることが確認され、温泉施設と北野天満宮を結び付け地域の活性化を図る目的で温泉を掘ったところ、毎分八トンという大量の水が噴出しました。この水源は北

しています。

大量に噴出する水は周辺一帯の公園施設の一部、湧水堂として水を噴出し続けています。



湧水堂内の噴出する水



新潟県側から残雪残る佐武流山を望む

ここから志賀高原、あるいは森林生態系保護地域として原生的な森林植生が約九千鈔にわたって残されている、佐武流山登山口である秋山郷への通行ができません。

◆アクセス方法

JR飯山線森宮野原駅から平日に限りデマンドバスで坪野まで約三十分。

マイカーでは、国道一一七号線信越国境宮野原信号機から県道を約二十分。

周辺の苗場山・鳥甲山登山、あるいは志賀高原から草津方面へのドライブを楽しむにはマイカーがお勧めです。